

BIOS マニュアル

BIOS セットアップユーティリティとは

BIOS セットアップユーティリティとは、BIOS の基本動作設定を確認・変更するためのツールです。

セットアップユーティリティは、マザーボード上のフラッシュメモリー (BIOS ROM) に格納されています。

このユーティリティで定義される設定情報は、マザーボード上の特殊な領域 (CMOS RAM 領域) に格納されます。この設定情報は、マザーボードに搭載されているバックアップ電池により保存され、システムの電源を OFF したり、リセットしても消えることはありません。

ONKYO 製パーソナルコンピュータシステム (以下、「システム」と記述) は、出荷時の BIOS 設定で最適動作するように設計されています。お客様自身によって BIOS 設定の変更を行う場合は、あとで現在の設定を参照できるよう、このマニュアルを印刷しデフォルト値を記録しておくことを、強くお勧めいたします。

システムに接続されている個々のハードウェア構成 (外部接続端子への接続を含む) や、お客様の使用環境、システム BIOS の更新によって本書の表示との差が生じる場合がありますことをあらかじめご了承ください。

BIOS とは

BIOS とは、システムのハードウェアを利用または制御するための基本プログラムの一つです。

(BASIC In/Out SYSTEM: ハードウェアと OS の橋渡しの機能を司る)

搭載されている CPU、メモリー、ハードディスク、ビデオシステム、チップセットなどの基本動作に関する設定情報を CMOS RAM 領域に保存し、システムが起動するときに前回設定値との内容を比較することで、本体に変化や異常がないかの自己診断を行います。

BIOS が使用する各種設定情報を確認・変更するためのプログラムが、BIOS セットアップユーティリティです。

―― 注意事項 ――

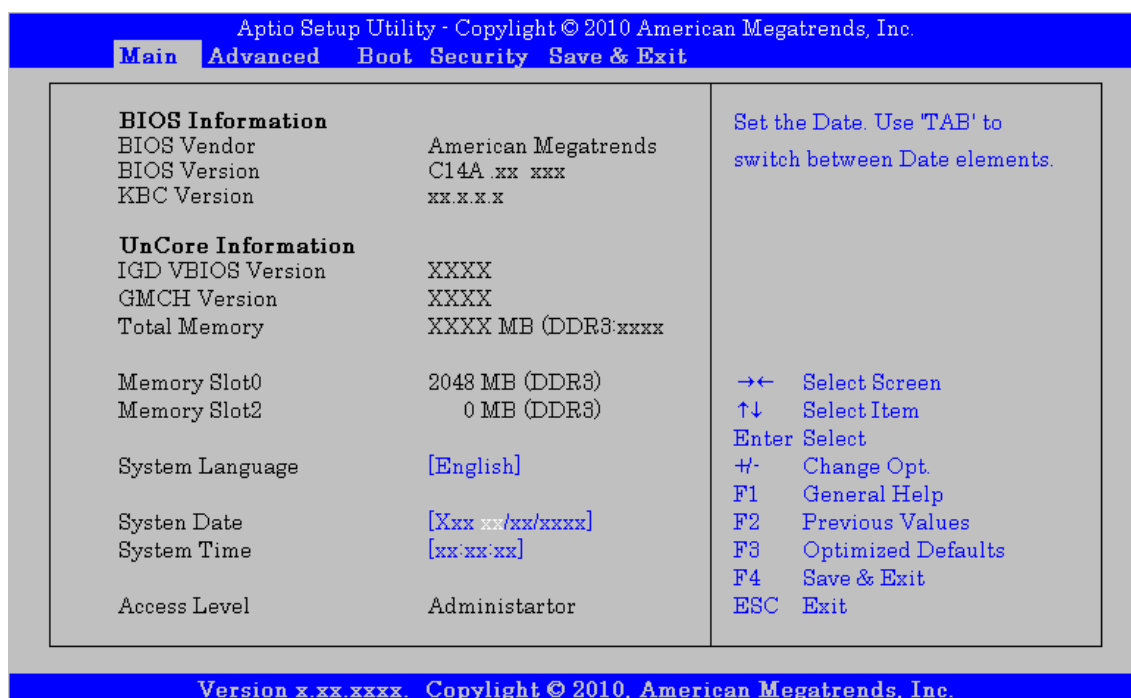
BIOS 設定は当該システムに最適化された状態で出荷しております。

間違った BIOS 設定での御使用はシステムに深刻なダメージを与えます。
設定変更される際は十分に御注意いただくとともに、このマニュアルに
記載される内容をご理解いただけない場合は変更を行わず、
工場出荷状態での御使用を強く推奨いたします。

BIOS 設定の変更により正常に動作しなくなった場合、ならびに、
お客様によって設定されたパスワードの忘失に起因する動作不良につきましては、
保証期間中であっても弊社サービスセンターでの**有償修理**となりますことを
あらかじめご了承ください。

基本的な BIOS 設定

- BIOS セットアップユーティリティを起動する
 1. コンピュータの電源を入れます。
 2. ONKYO ロゴ画面が表示されたら、[F2] キーを押します。
 3. BIOS セットアップユーティリティが起動します。
- BIOS セットアップユーティリティを操作する



↑ / ↓	アイテムを選択します。
← / →	メニュー(タブ)を選択します。
—/+	値の変更をします。(Fn キーを押しながら青字の + / -)
F1	ヘルプを表示します(英語)。
F2	変更した項目を破棄します。
F3	工場出荷時の設定をロードします。
F4	設定を保存して、BIOS セットアップユーティリティを終了します。
ESC	セットアップユーティリティ もしくは メニューを終了します。
Enter	選択 もしくは サブメニューを表示します。

- **BIOS を初期化する**

1. BIOS セットアップユーティリティを起動します。
2. “Save & Exit” メニューを選択します。
3. “**Restore Defaults**” を選択し、[Enter] キーを押します。
4. “Load Optimized Defaults / Load Optimized defaults?” が表示されたら、“Yes” を選択し [Enter] キーを押します。
5. **設定を保存**（次項目参照）して、BIOS セットアップユーティリティを終了します。

- **設定を保存して、BIOS セットアップユーティリティを終了する**

1. BIOS セットアップユーティリティを起動します。
2. “Save & Exit “ メニューを選択します。
3. “**Save Changes and Reset**” を選択し、[Enter] キーを押します。
4. “Save & reset / Save configuration and Reset?” が表示されたら、“Yes” を選択し [Enter] キーを押します。
5. BIOS セットアップユーティリティが終了し、自動的に再起動します。

高度な操作

● デバイスの起動順位を設定する

1. BIOS セットアップユーティリティを起動します。
2. “Boot” メニューを選択します。
3. “**Boot Option Priorities**” にて、優先して起動したいデバイスを指定します。
4. 設定を保存して、BIOS セットアップユーティリティを終了します。

● BIOS パスワードを設定・削除する

BIOS セットアップユーティリティの起動、コンピュータの起動などを制限できます。

ここでは、Administrator Password を設定する手順を紹介します。

(User Password についても同様の手順で設定することができます)

[BIOS パスワード:有効にする]

1. BIOS セットアップユーティリティを起動します。
2. “Security”メニューを選択します。
3. “Administrator Password” を選択し、[Enter]キーを押します。
4. “**Create New Password**” に設定したいパスワードを入力し、[Enter]キーを押します。
5. “**Confirm New Password**” にて同じパスワードを入力し、[Enter]キーを押します。
6. 設定を保存して、BIOS セットアップユーティリティを終了します。

[BIOS パスワード:無効にする]

1. BIOS セットアップユーティリティを起動します。
2. “Security”メニューを選択します。
3. “Administrator Password” を選択し、[Enter]キーを押します。
4. “Enter Current Password”と表示されたら、現在のパスワードを入力します。
5. “Create New Password”と“Confirm New Password”には何も入れず、
空欄のまま[Enter]キーを押します。
6. 設定を保存して、BIOS セットアップユーティリティを終了します。

パスワードの忘失について

パスワードを忘失すると、システムの起動ができなくなります。

User Password を忘れた場合は、Administrator Password で BIOS セットアップユーティリティを起動して、User Password を再設定してください。

Administrator Password を忘れた場合は、修理(有償)が必要となります。

無償修理期間であっても有償修理でのご対応となりますことを、あらかじめご了承ください。

参考

Main		
	System Time	時間を設定できます。
	System Date	日付を設定できます。
Advanced		
	Legacy USB Support	Legacy USB サポートを制御します。
	HDD Acoustic Power Management	HDD 静音化機能(AAM)を制御します。
Boot		
	Bootup Numlock State	起動時の NumLock 値を制御します。
	Fast Boot	起動時の初期化動作を一部省略し、起動時間を短縮します。
	Quiet Boot	起動時の BIOS 画面を制御します。
	Boot Option	起動デバイスの優先順位を決定します。
	CD/DVD ROM Drive BBS Priorities	起動デバイス(ODD)の詳細設定をします。
	Hard Drive BBS Priorities	起動デバイス(HDD)の詳細設定をします。
Security		
	Administrator Password	管理者パスワードを設定します。
	User Password	ユーザパスワードを設定します。
	HDD Security Configuratuon	HDD パスワードを設定します。
Save & Exit		
	Save Changes and Exit	変更を保存してユーティリティを終了します。
	Discard Changes and Exit	変更を保存せずユーティリティを終了します。
	Save Changes and Reset	変更を保存し、再起動します。
	Discard Changes and Reset	変更を破棄し、再起動します。
	Save Changes	変更を保存します。
	Discard Changes	変更を破棄します。
	Restore Defaults	工場出荷設定をロードします。
	Save as User Defaults	お好みの設定をデフォルト値として保存します。
	Restore User Defaults	上記の設定をロードします。

Memo: